

協議事項16

プール開放事業について

プール開放事業について、協議事項として以下のとおり提案する。

令和4年6月15日提出

神戸市教育委員会事務局

事務局長 高田 純

プール開放事業について

1. 経緯

- これまで、子供たちに水に親しむ機会を創出することを目的として、地域住民等で構成される学校施設開放運営委員会による企画・運営のもと、夏季に小学校のプールを子供たちに開放する「学校プール開放事業」を実施してきた。
- しかし、地域の高齢化や共働き世帯の増加等による担い手の減少や、屋外の学校プールにおける熱中症リスク等の課題により、実施校数は年々減少していた。さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年度及び3年度については事業を中止としている。
- このような状況を踏まえ、また、地域住民等による運営ではなく専門事業者のノウハウを活用することにより、水による子供の重大事故リスクの軽減も図られることから、令和4年度より「学校プール開放事業」を廃止し、児童への民間・公営の屋内プールの利用券配布方式へと移行する。

2. 概要

- (1) 対象：市立小学校・義務教育学校・特別支援学校に通学する6歳～12歳の児童
- (2) 実施期間：
夏季休業期間（令和4年7月22日～8月31日）のうち、各事業者が指定する日
- (3) 実施形態：
 - ①休館日に開放：27施設（1日1～3コマ、1コマ60分～120分程度）
 - ②体験教室等への参加：6施設
※体験教室等に神戸市枠を設定、利用券を割引券として活用
 - ③その他：3施設
※通常営業等の中での開放：2施設、調整中の施設：1施設
- (4) 児童1人あたりの利用券の配布枚数：5枚（予定）

3. 今後のスケジュール

- 7月上旬：事業の詳細発表
- 7月中旬：利用券の配布

【参考1】直近5年間の「学校プール開放事業」実施校数：

H27：146校、H28：144校、H29：142校、H30：140校、R1：126校

【参考2】令和3年度の実施希望校数：69校

【参考3】プール開放についての保護者アンケート結果（令和4年1月7日～1月19日実施）

1. 対象者：対象者：79,779人（小学校等保護者）
2. 回答数：12,172件
3. 結果 民間や公営プールの無料利用券の利用が望ましい（9,149件 約75.2%）
従来通り学校のプールの開放が望ましい（3,023件 約24.8%）